

平成 27 年度
明星学苑事業報告書（抜粋）

（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

学校法人明星学苑

平成 28 年 5 月

平成 27 年度 明星学苑事業報告書

目 次

理事長あいさつ	1
I. 法人の概要	2
建学の精神・教育方針・校訓・明星学苑がこれからも変わらず目指すもの	2
各校の教育目標	2
各校の教育内容と教育方法	3
沿革 (省略)	
設置校及び所在地 (省略)	
役員の概要 (省略)	
評議員の概要 (省略)	
学生数・生徒数 (省略)	
教職員数の推移 (省略)	
組織概要 (省略)	
II. 事業の概要	4
平成 27 年度事業基本方針と進捗状況	
法人 (省略)	
明星大学	4
いわき明星大学 (省略)	
府中校 (明星中学校・高等学校、明星小学校、明星幼稚園) (省略)	
卒業生の進路・就職状況	15
III. 財務の概要 (省略)	
平成 27 年度決算について (省略)	
経年推移比較 (省略)	
財務比率 (省略)	
学校法人の会計について (省略)	
別添資料	
1. 学生生徒等在籍者数 (省略)	2. 資金収支計算書 (省略)
3. 活動区分資金収支計算書 (省略)	4. 事業活動収支計算書 (省略)
5. 貸借対照表 (省略)	6. 財産目録 (省略)
7. 監査報告書 (省略)	

「グローバル時代と明星教育」

理事長 吉田 元一

明星学苑の建学の精神は、「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」であります。今から 80 年以上前につくったこの建学の精神は、まさに私たちが現在直面するグローバル時代を見越した洞察であったと思います。今の社会は好むと好まざるにかかわらず、ますます競争が厳しくなるグローバリゼーションの中で、私たちはより豊かな社会を実現していかなければなりません。

私達は、明星教育を受けた卒業生が、その豊かな社会を担う人材、又世界に貢献できる人材となる、そういう学校を目指しています。基本的な学力はもちろん、将来社会のリーダーとなるべく人格を磨き、教養・見識を身につけてはじめて「世界」に貢献できる人が育つはずでです。このような人材を育成するため、オール明星で教育改革、改善に取り組み、幼小中高の一貫教育、また大学を擁する総合学園の強みをさらに発揮していきます。

本学苑は平成 35 年に 100 周年を迎えます。これは私達にとって一つの節目であります。この節目で最も重要なことは、明星学苑がさらにその後の 100 年存続できる学校になることです。グローバリゼーション時代のリーダーを育成すると同時に、地域に根ざした学校として、進学面でも就職面でも多摩地域でナンバーワンの私学になることです。

世の中の流れはますます不確実性を増し、社会の変化の中、今学んでいる園児・児童・生徒・学生が将来つく職業の在り方も、ドラスティックに変わるかも知れません。しかし、どのような変化が来ようと、生き抜く力を養い、目に見える学力も目に見えない学力も身につけられる学校として、教職員一同で「手塩に掛ける教育」を続けていきます。

I. 法人の概要

●建学の精神・教育方針・校訓・明星学苑がこれからも変わらず目指すもの●

<建学の精神>

「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」

【教育方針】

1. 人格接触による手塩にかける教育
2. 凝念を通じて心の力を鍛える教育
3. 実践躬行の体験教育

【校訓】

健康、真面目、努力

《明星学苑がこれからも変わらず目指すもの》

明星学苑は、建学の精神である「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」ことをもって社会に寄与することをその使命とする。

そのために、学苑が設置する学校は、校訓「健康、真面目、努力」を旨とし、一人ひとりの学生・生徒・児童・園児を大切にして徳育・知育・体育の調和を目指す「人格接触による手塩にかける」教育を行い、着実に教育の成果を上げることに努める。

●各校の教育目標●

明星大学	自己実現を目指し社会貢献ができる人の育成
いわき明星大学	全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成
明星中学・高等学校	自律心を持った自立した人の育成
明星小学校	正直なよい子の育成
明星幼稚園	よい子の育成

●各校の教育内容と教育方法●

<p>明星大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本的知識と技能の習得 ●幅広い教養を身につけた自立する市民の育成 ●心と体の健康管理の教育 ●高度専門職業人及び幅広い職業人の育成 ●体験教育を通して生涯に亘る学習意欲を獲得し、自らの歴史を綴ることができるようにする教育
<p>いわき明星大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●大学で学ぶ意識を高める少人数・演習形式の初年次教育 ●さまざまな学修歴をもつ学生に対応した効果的な基礎教育 ●時代を見据え、地域に根ざし、体験を通して学ぶ専門教育 ●専門を超えた探究心と充実した心身を育む教養教育 ●きめ細かな個別指導と快適な自習環境の提供による学習支援
<p>明星中学・高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●凝念教育 ●3ステージ制による6カ年一貫教育 ●文化等の違いを体験し、国際理解を深める教育 ●地域社会との連携による教育（ボランティア活動等の体験教育） ●学苑設置校（幼・小・大）との連携とIT教育
<p>明星小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●凝念教育 ●五正道（正しく視る、正しく聴く、正しく考える、正しく言う、正しく行う）の実践 ●豊かな心を育てる教育（心の教育、道徳・躰、体験学習、きめ細かな生活指導等） ●確かな学力をつける教育（授業の充実、きめ細かな学習指導等）
<p>明星幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「みなしずか」（凝念）の実践 ●一人ひとりを大切にされた保育 ●体験を通して学ぶ ●年齢に応じた基本的生活習慣の確立 ●総合学園の特色を生かした保育

※“凝念”とは、静座して目を閉じ、雑念を取り払い無念無想の境地に身を置くこと。

Ⅱ. 事業の概要

●平成 27 年度事業基本方針と進捗状況●

明星大学

1. 基本方針

明星大学は、設置者である学苑の建学の精神に基づき「自己実現を目指し、社会貢献ができる人の育成」を教育目標とし、「教育の明星大学～主体的に行動する学生を育て教育改革をリードする大学～」をビジョンとして掲げ、学苑の高等教育機関として学部学科においては学士力の獲得、大学院においては高度専門職業人や研究者の養成を柱に、以下の教育方針に基づき教育研究活動を展開しています。

(明星大学の教育方針)

- 現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本的知識と技能の習得
- 幅広い教養を身につけた自立する市民の育成
- 心と体の健康管理の教育
- 高度専門職業人及び幅広い職業人の育成
- 体験教育を通して生涯に亘る学習意欲を獲得し、自らの歴史を綴ることができるようにする教育

平成 27 年度の事業展開にあたっては、本学の教育研究活動を通して本学が永続的に存続できる基盤を確立していくために達成すべきロードマップを策定し、それに向けての活動を行いました。活動のベースとなるのは、平成 22 年度から全学展開している MI21 プロジェクト (Meisei Innovation for the 21st Century) 活動※に基づくものです。

※ MI21 プロジェクトは、中長期的な重点戦略 (目標) 間の関係を明らかにした、「全学戦略マップ」を基に、「バランス・スコアカード」を活用し、各戦略の具体的な成果目標を定め、PDCA サイクルを回しながら事業を展開する、全学的な取り組みです。
この取り組みは、平成 24 年度の文部科学省補助金事業「未来経営戦略推進経費 (経営基盤強化に貢献する先進的な取り組み)」に採択されました。

ロードマップに掲げる目標の現時点での達成状況 (平成 27 年度末) は、次のとおりです。

(1) 進路決定率 (目標 : 90%以上)

プロジェクトで行う有力企業対策、インターンシップ受入企業の開拓、多摩地区にある企業等との連携強化、教職員の連携強化及び上場企業を始めとする各種業種・業界別就職ガイダンス・講座などの支援体制を強化した結果、進路決定率は全学で 81.9%から 83.6%に、また就職率も 77.0%から 77.2%へと平成 26 年度を上回ることができました。

(2) 志願者数 (目標 : 20,000 人以上)

オープンキャンパスの充実や高校ガイダンスへの積極参加による受験生や進路担当者との接触機会の拡大、地方入学試験会場の増設等による受験機会の拡大などにより、志願者の獲得を図り、一般入試及びセンター利用入試の志願者数は、平成 26 年度の 14,627 人から 16,470 人へと増加しました。

(3) 離籍率 (目標 : 4.0%未満) :

GPA 制度や「学生カルテ」、学力アセスメントの結果等の積極的な活用による個別指導の強化や学生生活全般（学習面、経済面、精神面）への支援体制を充実させた結果、全体では平成 26 年度の 4.8%から 4.2%へと改善しました。

(4) 科学研究費補助金獲得額 (目標 : 私学上位 50 位以内)

大型科研費応募に向けた、啓発活動の強化や教員の研究全体をコーディネートする URA※の導入効果等により、新規応募件数は 84 件から 64 件と減少したものの、獲得額は約 5,500 万円から約 7,300 万円、私学の中では 105 位(平成 26 年 129 位)となりました。

※ University Research Administrator の略です。大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指します。

(5) 事業活動収支差額比率 (目標 : 収入超過率 5.0%以上)

平成 27 年度は、いわき明星大学の法人分離に伴う一時的な人件費支出が拡大した結果、平成 27 年度決算では-4.8%と平成 26 年度の-5.2%より改善は図られたものの、支出超過となりました。

なお、教育活動収入は 13,020 百万円から 13,099 百万円へと増加しており、平成 28 年度においては、入学者数・在籍者数ともに増加していることから、更なる改善が図られる見通しである。

【上記ロードマップ達成状況の経年推移は、21～23 ページの「明星大学ロードマップ平成 23 年度～平成 27 年度 経年推移表」を参照】

2. 重点事業

本学は、これまで社会の要請に応えるための学部学科の組織再編や、教育環境を充実させるためのキャンパス開発等、教育研究活動の活性化を図ってきました。平成 27 年 4 月からは、教育研究活動の拠点を日野校に集約することで、総合大学の強みをより一層活かした教育活動を展開しています。

基本方針で示した本学のヴィジョンを具現化する活動として、以下の事業について特に注力して教育研究活動を展開しました。各事業の取り組み状況は次のとおりです。

(1) 経営基盤確立に向けた改組改編の推進

将来に亘って社会に有為な人材を供給し続けることを目的に、心理学部心理学科開設及び教育学部の定員増加に向けた取り組みを推進しました。

改組改編検討委員会における学部学科のマーケットトレンドの調査・分析に基づき、学長の下に置かれた設置準備委員会において教育課程や教員組織に関する具体的な計画を策定しました。

現在、学部等設置に係る文部科学省に対する手続を進めています。

(2) 教育の質的転換に向けた教育改革の取り組み

社会が求める能力を効果的に養成するために、経営学部の教育課程の再編に向けた取り組みを推進しました。平成 29 年度より現在の 3 コース制から地域創生推進をコンセプトに「多摩ブランド創生コース」「観光・ブライダルコース」「事業承継・起業コース」「金融・会計プロフェッションコース」及び「高度実務人材育成コース」を設け、5 コース制に再編成します。新たなコースは、多摩地区を中心とした社会のニーズに応じていきます。

(3) 「教育の明星大学」としての社会的地位の向上

本学の社会的認知度の向上及び「教育の明星大学」ブランドを確立するため、「教育の明星大学」をメインコピーとし、教員の教育研究活動に焦点を当てた広告を制作し、日本経済新聞、毎日新聞等の他、週刊誌、女性誌等にも出稿しました。また、本学の持つ知財を通じた社会貢献事業として、資料図書館内の「明星ギャラリー」において、企画展を 3 回開催しました。

Web を活用した活動については、学内行事等に対する情報収集体制を整理することでホームページ等の更新を充実させることや、新たに SNS を活用した情報発信を開始する等、ステークホルダーへのタイムリーな情報提供を推進しました。

(4) 目的意識の高い学生確保に向けた募集活動の充実

受験生や高校・予備校の進路指導担当者に対して「教育の明星大学」や「体験教育」等、本学の特色をアピールするため、大学案内及び学科パンフレットを刷新するとともに、受験雑誌等への積極的な出稿、学部学科別の DM 発送等、学生募集活動を積極的に展開しました。

また、平成 26 年度の学生募集活動の評価、分析に基づき、オープンキャンパスの充実、高校・予備校訪問を実施し、高校生接触者数の拡大を図りました。

入試戦略面では、地方からも広く目的意識の高い志願者の獲得を図るため、地方入学試験会場を4会場増設しました。

	(平成26年度)		(平成27年度)
・志願者数	14,627人	→	16,470人
・高校生接触者数	53,391人	→	52,674人
・オープンキャンパス参加者数	13,490人	→	13,693人
・高等学校訪問数(延べ)	1,004校	→	846校
	(平成27年度)		(平成28年度)
・入学者数	2,184人	→	2,160人



(写真は平成26年度に行われたオープンキャンパスの様子)

本学は、受験生や保護者に対し本学への理解向上を目的に、オープンキャンパスを実施しています。オープンキャンパスでは、本学の学生が中心となって、様々なイベントの企画立案から実行までを担っており、受験生や保護者から好評を得ています。

(5) 主体的に行動する学生の育成に向けた支援体制の強化・充実

教職員間や関係部署間の情報共有を促進することを目的として、新たに導入した修学支援システムを活用し、授業出席状況や成績管理等に基づくきめ細かい個人指導・個別面談を実施しました。また、正課外における学習の場として、ICT環境を備えたラーニング・コモンズ※や、グループ及び個人それぞれで活用できる図書館内の学習スペースを整備し、学生の主体的学習を環境面から支援しています。

※ ラーニング・コモンズとは、「複数の学生が集まって自学自習するための共有スペース」の総称です。

	(平成26年度)		(平成27年度)
・離籍率	4.8%	→	4.2%

(6) キャリア教育の充実と就職支援体制の強化

① 学生が納得できる就職を実現

学生が納得できる就職を実現させるため、選抜型で行うプロジェクト型の有力企業対策や、企業との接触機会の拡大、新たな業種・目的別の講座・ガイダンスの開講、学生の就職状況の情報共有を目的とした各学部学科との連携強化等、就職支援に係る各種施策を実施しました。

	(平成26年度)		(平成27年度)
--	----------	--	----------

・進路決定率	81.9%	→	83.6%
・上場企業決定率	14.0%	→	18.0%
・企業来訪・訪問件数	2,125 件	→	2,870 件
・求人件数	4,992 件	→	6,814 件

② 教員採用試験対策講座の充実

平成 26 年度の教員採用試験の結果の分析に基づき、本学オリジナルの教員採用試験対策講座、特に 2 次試験対策として小中学校の校長を経験した実務家教員による個別指導等を行った結果、今年度の教員採用試験は、平成 26 年度同様 90 人を超える合格者を輩出することができました。

(平成 26 年度) (平成 27 年度)

・教員採用試験合格者数	94 人	→	93 人
-------------	------	---	------

※ 卒業生及び通信教育課程の学生を含んでおりません。

※ 全国の都道府県・政令指定都市で実施する公立学校教員採用試験の合格者数であり、校種・教科等は問いません。

※ 期限付任用を除きます。

③ インターンシップの量的・質的充実

インターンシップに参加することで、学生が早期に就職意識を醸成できるよう、受入企業の開拓、学生への啓発活動及び事前講義を充実させました。また、本学のキャリアセンターが実施する正課外のインターンシップに加え、教育学科の「教育インターンシップ」や福祉実践学科の「福祉インターンシップ」等、学科の専門分野を活かしたインターンシップを正課の科目として、提供しています。

(平成 26 年度) (平成 27 年度)

・インターンシップ参加者数（延べ）	913 人	→	1,009 人
-------------------	-------	---	---------



(写真はキャリアセンターで就職の相談を受けている様子)

本学は、学生が納得する進路を実現させるため、毎年、数多くのセミナーや説明会等を実施しており、これらの施策により、学生の就業意識が醸成され、年々卒業生の就職率・進路決定率は上昇しています。本学は、引き続き教育目標達成のため、学生の就職活動の支援体制を強化していきます。

④ キャリア教育を通し学生の成長を促すカリキュラムの強化

本学のキャリア教育である「自立と体験 1」、「自立と体験 2」、「自立と体験 3」、「自立と体験 4」及び「キャリアデザイン 1」では、授業内容の改善、教案及び教材の見直し等、科目の充実を図っています。

また、「社会的・職業的自立促進科目群検討委員会」での検討結果に基づき、平成 28 年度よりスタートする「キャリアデザイン 2」の準備を進めました。

⑤ ボランティアを通して地域・企業のニーズに応える人材と知財の提供

本学のボランティアセンターが保有する活動分野別に整理されたボランティア募集情報や、ボランティア団体の登録制度を通じた学外のボランティア情報を学生に周知することで、学生のボランティア参加、活動の促進を図りました。

また、東日本大震災の被災地において毎年実施している、いわき明星大学との合同ボランティア活動を2回実施しました。

	(平成 26 年度)		(平成 27 年度)
・ボランティア活動参加学生数	5,432 人	→	6,387 人
・学外ボランティア団体登録数	121 件	→	129 件



(写真は MCAT による近隣地域見回り活動の様子)

地域のために活動する本学の防犯ボランティア隊 MCAT (Meisei Community Action Team) は、日頃の地域の安全活動を高く評価され、平成 26 年 5 月に警視総監賞を受賞しました。引き続き、学生によるボランティア活動が、大学と地域との架け橋となるように、積極的に支援を続けていきます。

(7) 新たな通信教育体制の構築

インターネットスクーリング開講科目の充実や、入学希望者向け「入学コース診断システム」、学修支援システム「StarWeb」におけるスマートフォン対応化を行う等、ICT を活用し学生の利便性を向上させることで、学生満足度の向上を図る取り組みを推進しました。

募集活動においては、現職教員等を対象に保育士資格の取得や特別支援学校の取得が可能となる科目等履修生の受け入れに関する広報を積極的に展開しました。

	(平成 26 年度)	(平成 27 年度)
・通信教育部入学者数 (正科生・科目等履修生)	3,556 人	→ 3,590 人

(8) 研究活動の活性化に向けた支援体制の充実

教育活動の基礎となる研究活動の活性化を図るため、科学研究費を含む外部資金獲得に資する URA の配置や、学内競争資金である「重点支援研究費」の配分など、教員の研究活動に対する支援体制を充実させました。

	(平成 26 年度)	(平成 27 年度)
・科学研究費獲得額	55,120 千円	→ 67,470 千円

(9) 大学の国際化の促進

外国人留学生の受け入れ拡大のため、海外学術交流提携校の新規開拓や在日日本語学校との指定校制度の拡大、本学教員の海外派遣、入学試験の出願資格に係る日本語能力の見直し等、留学生受け入れに係る取り組みを強化しました。また、外国人留学生への支援として、日本語記述力講座やリメディアル授業の実施による日本語学習の支援や、留学生交流会や日本文化体験イベントなど、個々の学生のニーズに即した支援を行いました。

在学生への支援については、海外留学の推進や TOEIC 対策講座の新設等学生の語学力向上のための取り組み実施することにより、多様な文化・価値観に接し、学生の内的成長を促す事業を推進しました。

	(平成 26 年度)		(平成 27 年度)
・海外学術交流提携校数	44 校	→	45 校
・留学生数【前期/後期】	36 人/61 人	→	62 人/61 人
・認定留学派遣学生数【通年/前期/後期】	11 人/11 人/8 人	→	9 人/9 人/11 人

(10) 自己点検評価活動の推進と情報公開体制の充実

公益財団法人大学基準協会による認証評価期間が平成 29 年度末までであることから、平成 27 年度は、全学及び学部学科における自己点検評価活動を促進するなど、次期認証評価への対応の準備を進めました。

MI21 プロジェクトにおいて、平成 26 年度に引き続き離籍率の改善を図るため、離籍の先行指標となる留年要因について分析を行い、離籍率改善につながる施策を策定しました。あわせて、学校教育法、教育職員免許法施行規則、大学ポートレートへの対応のほか、社会における本学の理解促進を図るため、積極的な情報公開を行うとともに、学内情報の管理体制を整備しました。

(11) 多摩地区を始めとする地域連携事業の推進

「地域に立脚した教育の推進」を行うための窓口として、「地域交流センター」を設置し、大学と地域の交流を活発化させるとともに多摩地域の活性化に寄与するための取り組みを推進しました。



(写真は本学で実施された日野市長と実践女子大学及び本学学生との「ふれあいトーク」の様子)

平成 26 年度、本学と日野市は、「相互協力・連携に関する包括協定」を締結しました。本学は、これまでも日野市を始め、多摩地区において様々な地域連携事業を実施してきましたが、今後より一層の連携強化を図っていきます。

(12) 大学運営基盤確立に向けた組織改革・業務改革

① 学生支援の向上に向けた職員の意識改革の推進

「仕事を通じて自分を育て、人を育てる職場環境」を基盤として、長期的視野に立った体系的・継続的な職員育成を行っています。平成 27 年度は、事務局各課の課長が中心となり立案する「部署別 SD」の他に、新たな取り組みとして他大学と合同の階層別研修を始める等、職位や経験年数に応じた職員研修を実施しました。

また、他大学の大学職員との交流を図るとともに、大学職員としてのスキル向上を目的に、筑波大学が実施する「大学マネジメント人材育成プログラム」への参加を希望する職員を派遣しました。

	(平成 26 年度)		(平成 27 年度)
・ 部署別 SD 開催件数	86 件	→	72 件

② 管理体制の充実を図る組織再編の促進

平成 29 年度の心理学部の円滑な開設に向け「心理学部開設準備室」を設置、部局の持つ情報を一元的に集約し社会に発信する体制を強化するため「広報室」を学長室に編入し「学長室広報課」に再編、全学の教職課程に関する統括的な管理・運営、情報収集等を行っている業務の実態に合わせ「教育学部教職センター」を「教職センター」に名称変更しました。

〈以下余白〉

明星大学 ロードマップ

平成 23 年度～平成 27 年度 経年推移表

- ・ロードマップ (1) 進路決定率
- ・ロードマップ (2) 志願者数
- ・ロードマップ (3) 離籍率 (留年率)
- ・ロードマップ (4) 科学研究費応募件数
- ・ロードマップ (5) 事業活動収支差額比率

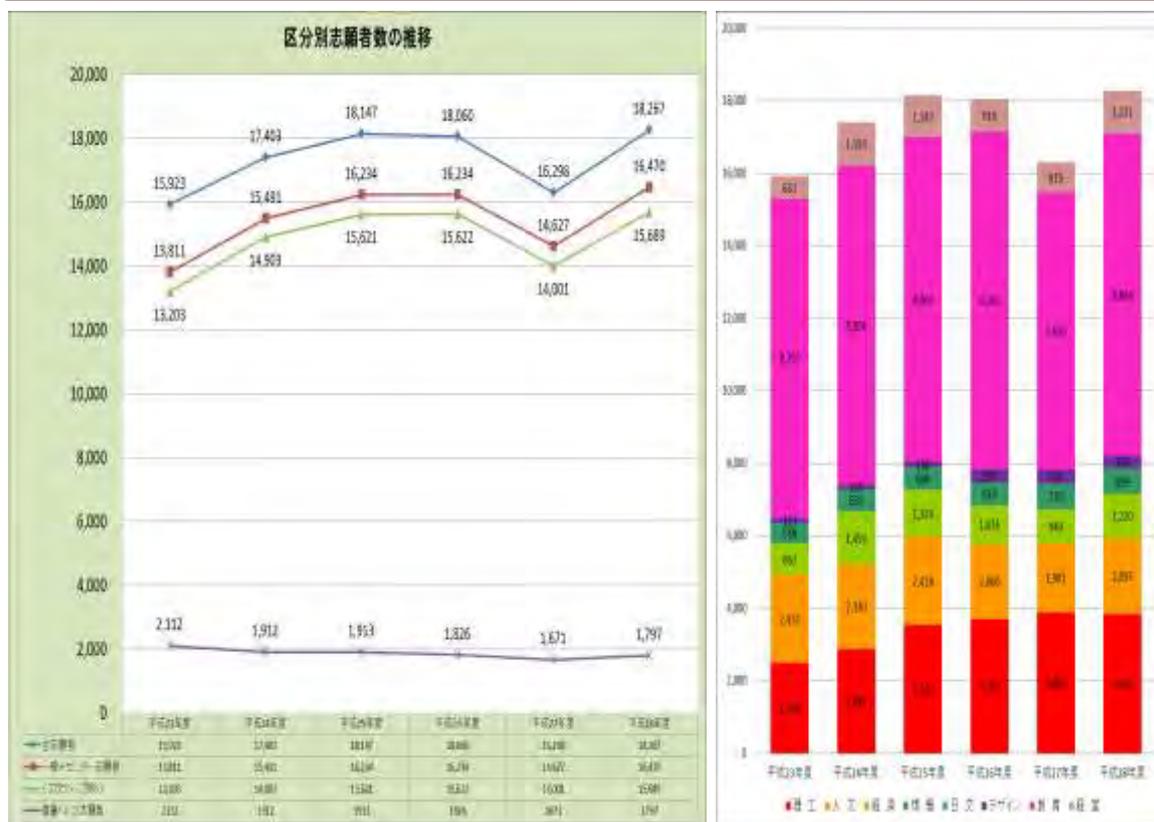
ロードマップ（1） 進路決定率



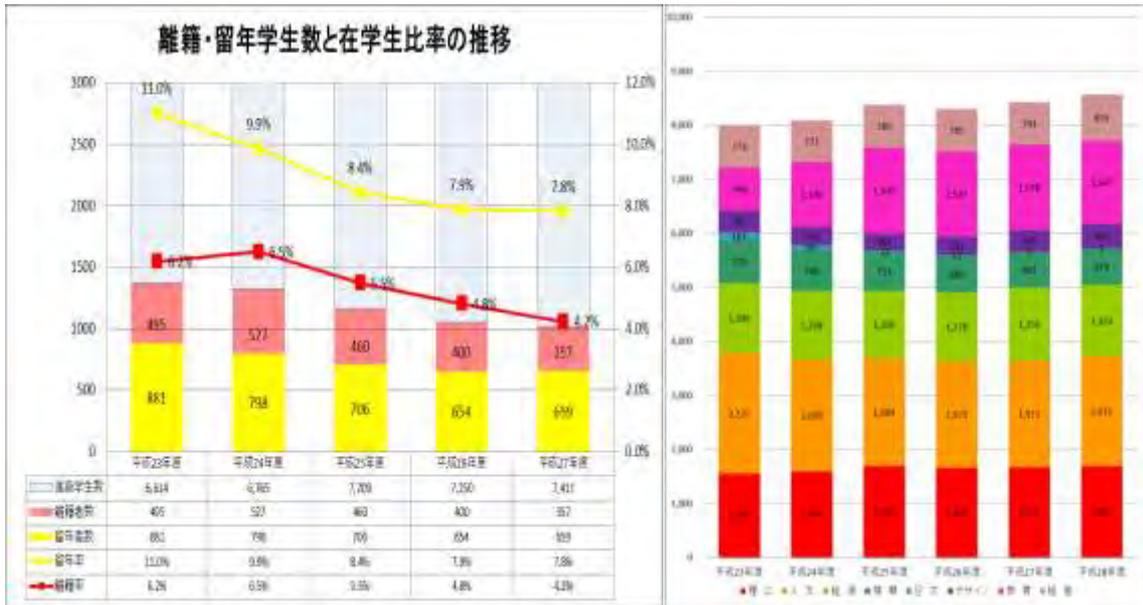
※進路決定率＝進路決定者数／卒業生数

※内定率＝就職決定者数／就職希望者数

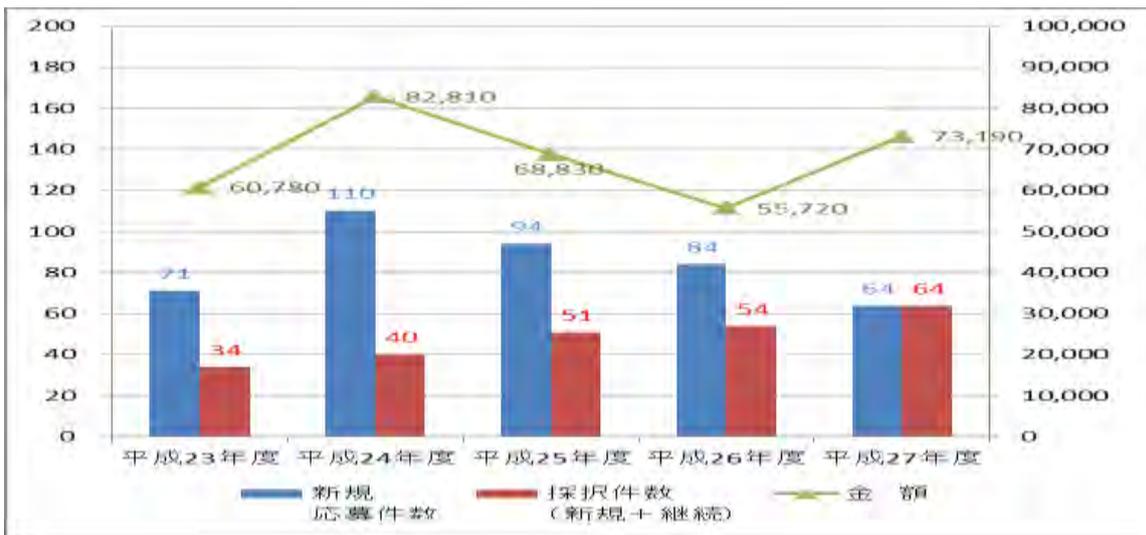
ロードマップ（2） 志願者数



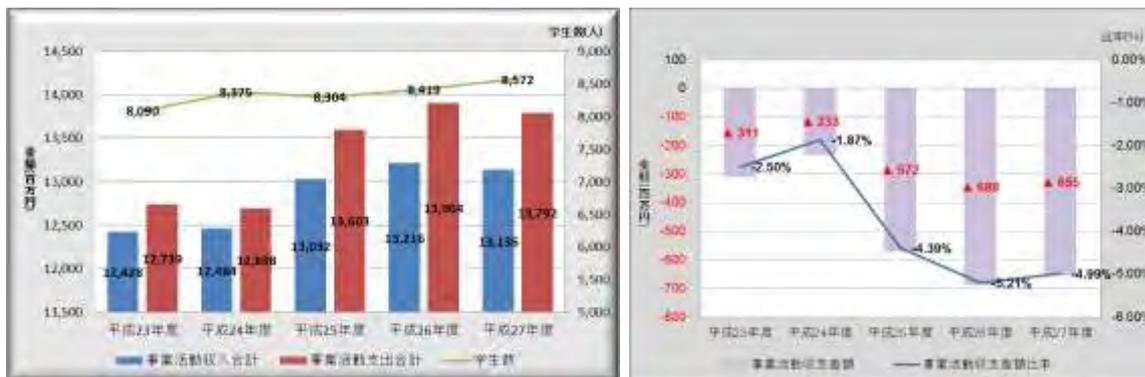
ロードマップ (3) 離籍率 (留年率)



ロードマップ (4) 科学研究費応募件数



ロードマップ (5) 事業活動収支差額比率



卒業生の進路・就職状況

■明星大学

1. 就職・進学状況等

平成27年度学部卒業生数は、1,661名（9月卒業生を含む）でした。その内大学院進学者が47名、就職希望者は1,318名。就職決定者数は1,283名で就職率は77.2%でした。

2. 卒業・修了、学位授与数等の状況

		学 部 学 科 等	学位授与者数
学 部	理工学部	総合理工学科	304
		物理学科	0
		化学科	0
		機械システム工学科	0
		電気電子システム工学科	1
		建築学科	1
		環境システム学科	1
		計	307
	人文学部	国際コミュニケーション学科	94
		人間社会学科	66
		心理学科	104
		日本文化学科	76
		福祉実践学科	52
		心理・教育学科 心理学専修	1
		心理・教育学科 教育学専修	0
		計	393
	経済学部	経済学科	238
		経営学科	20
		計	258
	情報学部	情報学科	101
		計	101
	日本文化学部	言語文化学科	2
		計	2
	教育学部	教育学科	386
		計	386
	造形芸術学部	造形芸術学科	56
		計	56
経営学部	経営学科	158	
	計	158	
		学部 合計	1,661
大学院	理工学研究科	物理学専攻博士前期課程	3
		物理学専攻博士後期課程	0
		化学専攻博士前期課程	5

	化学専攻博士後期課程	0	
	機械工学専攻博士前期課程	8	
	機械工学専攻博士後期課程	0	
	電気工学専攻博士前期課程	2	
	電気工学専攻博士後期課程	0	
	建築・建設工学専攻博士前期課程	4	
	建築・建設工学専攻博士後期課程	0	
	環境システム学専攻博士前期課程	2	
	環境システム学専攻博士後期課程	0	
	計	24	
	人文学研究科	英米文学専攻博士前期課程	3
		英米文学専攻博士後期課程	0
		社会学専攻博士前期課程	1
		社会学専攻博士後期課程	0
		心理学専攻博士前期課程	10
		心理学専攻博士後期課程	0
		教育学専攻博士前期課程	0
		教育学専攻博士後期課程	1 (内論文博士1名)
		計	15
	経済学研究科	応用経済学専攻修士課程	3
		計	3
	情報学研究科	情報学専攻博士前期課程	4
		情報学専攻博士後期課程	0
		計	4
教育学研究科	教育学専攻博士前期課程	3	
	教育学専攻博士後期課程	0	
	計	3	
大学院 合計		49	
学部・大学院 総計		1,710	

3. 主な内定企業先（平成27年度）

（理工）日産自動車(株)、東日本旅客鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、多摩都市モノレール(株)、蛇の目ミシン工業(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)きんでん、日本電設工業(株)、東鉄工業(株)、高砂熱学工業(株)、大和ハウス工業(株)、ライト工業(株)、カネ美食品(株)、多摩信用金庫、青梅信用金庫、住友生命、財団法人関東電気保安協会、大田区役所、八王子市役所、川崎市役所、西東京市役所、神奈川県警察本部など

（人文）三井住友銀行、みずほ銀行、日本生命、第一生命、常陽銀行、山梨中央銀行、日本郵便(株)、多摩信用金庫、青梅信用金庫、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマート、(株)伊藤園、日本食研(株)、イオンリテール(株)、(株)マイナビ、(株)ニチイ学館、昭和飛行機工業(株)、矢崎総業(株)、

- リゾートトラスト(株)、(株)パレスエンタープライズ、(株)小田急リゾート、青山商事(株)、(福)東京都社会福祉事業団、(福)東京都知的障害者育成会、東京都教育委員会(小学校)、神奈川県警察本部、横浜消防局、世田谷区役所、府中市役所、武蔵村山市役所、防衛省など
- (経済) 三井住友銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行、多摩信用金庫、城南信用金庫、明治安田生命、積水ハウス(株)、東日本旅客鉄道(株)、京王電鉄(株)、三菱重工業(株)、日本製紙(株)、日本通運(株)、日本郵便(株)、ヤマト運輸(株)、日野市役所、三鷹市役所、警視庁など
- (情報) エヌ・ティ・ティ・データ(株)、(株)システナ、(株)大塚商会、テンプスタッフ・テクノロジー(株)、損保ジャパン日本興亜システムズ(株)、エヌ・ティ・ティ・インターネット(株)、エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマーサービス(株)、みずほオペレーションサービス(株)、(株)NTTデータ・ビジネス・システムズ、(株)日立超L S Iシステムズなど
- (教育) 公立小学校教諭、公立中学校教諭、公立特別支援学校教諭、公立保育園、私立幼稚園、(株)資生堂など
- (造形芸術) 日本郵便(株)、(株)クロスカンパニー、(株)ヌーヴ・エイ、(株)プロテラス、(株)井ロー世、東京ガスタマライフバリュー(株)、(学)武蔵野美術大学武蔵野美術学園、奥多摩町役場など
- (経営) 野村証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、明治安田生命、A I U損害保険(株)、りそな銀行、足利銀行、東京都民銀行、神奈川銀行、城南信用金庫、多摩信用金庫、(株)ファーストリテイリング、宝酒造(株)、京王観光(株)、国際自動車(株)、鹿児島県庁、相模原市役所など

■いわき明星大学

1. 就職・進学状況等

平成27年度卒業生総数は、231名でした。その内、大学院等進学者が5名、就職希望者数は194名。就職決定者数は183名で、就職率は96.4%でした。

2. 卒業・修了、学位授与数等の状況

学 部 学 科 等			学位授与者数
学 部	科学技術学部	科学技術学科	40
		電子情報学科	0
		生命環境学科	0
		計	40
	人文学部	心理学科	51
		現代社会学科	40
		表現文化学科	37
		計	128
	薬学部	薬学科（6年制）	54
	合計		
大 学 院	理工学研究科	物質理学専攻修士課程	2
		物理工学専攻修士課程	1
		物質理工学専攻博士課程	0
		計	3
	人文学研究科	日本文学専攻修士課程	0
		日本文学専攻博士課程	0
		英米文学専攻修士課程	1
		社会学専攻修士課程	1
		臨床心理学専攻修士課程	4
	計	6	
	大学院 合計		
学部・大学院 総計			231

3. 主な内定先企業（平成27年度）

（薬）国立大学法人山形大学医学部附属病院、いわき市立総合磐城共立病院、公益財団法人ときわ会、医療法人清仁会シミズ病院グループ、石巻市立病院、土浦協同病院、クオール株式会社、株式会社マツモトキヨシ、日本調剤株式会社、株式会社ツルハ、株式会社カワチ薬品、株式会社くすりのマルトなど

（科学技術）東京電力株式会社、株式会社いわき民報社、公益社団法人ボイラークレーン協会、向陽電気工業株式会社、株式会社東日本計算センター、福島県中学校教員（理科）など

（人文）損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社東邦銀行、下郷町役場、株式会社マルト、社会福祉法人福島県福祉事業協会、株式会社江東微生物研究所など

■明星中学校・高等学校

1. 中学校卒業者の進学状況

平成 27 年度中学校卒業生総数 141 名でした。そのうち、明星高等学校進学者は 128 名、他校進学者は 13 名でした。

2. 高等学校卒業者の進学状況

平成 27 年度高等学校卒業生総数 357 名でした。そのうち、4 年制大学現役進学者は 303 名、短期大学進学者は 4 名、専門学校進学者は 15 名、進学準備他は 34 名、就職は 1 名でした。

3. 主な合格実績大学（平成 27 年度）

（国公立）群馬大学、東京海洋大学、東京学芸大学、室蘭工業大学、釧路公立大学、首都大学東京

（私 立）早稲田大学、上智大学、東京理科大学、学習院大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、工学院大学、芝浦工業大学、東京電気大学、東京都市大学、東京農業大学、國學院大學、成蹊大学、成城大学、武蔵大学、明治学院大学、大東文化大学、東海大学、亜細亜大学、帝京大学、国士舘大学、明星大学、桜美林大学、大妻女子大学、共立女子大学、昭和女子大学、昭和薬科大学、白百合女子大学、玉川大学、東京経済大学、東京女子大学、東京薬科大学、フェリス女学院大学、武蔵野大学

■明星小学校

平成 27 年度卒業児童総数 110 名でした。そのうち、明星中学校進学者は 64 名（男子 34 名、女子 30 名、うち MGS コースは男子 10 名、女子 10 名）、他校進学者は 46 名（私立中学校 40 名、国公立 5 名、海外校 1 名）でした。

■明星幼稚園

平成 27 年度卒業園児総数 95 名でした。そのうち、明星小学校進学者は 34 名、他校進学者は 61 名でした。